

ほくほくフィナンシャルグループ

1. 持株会社「ほくほくFG」スタート

16年9月1日に北陸銀行を傘下を持つ持株会社である「ほくぎんフィナンシャルグループ」に北海道銀行が合流・商号変更し、持株会社「ほくほくフィナンシャルグループ」が発足いたしました。持株会社による経営管理のもと、北陸銀行・北海道銀行の2ブランドを核とする総合金融サービスを提供する体制へ移行いたしました。



2. 北陸銀行・北海道銀行の業務協力を本格化

16年5月には札幌圏内の行内メールの共同化と北陸銀行の道内現送金業務・両替金準備業務を北海道銀行・道銀ビジネスサービスへ委託いたしました。16年9、10月にはそれぞれ富山市・札幌市で両行取引先が参加する「ビジネスフォーラム」を開催し、多数の企業関係者の方が来場され、活発な商談が行われました。16年10月には、「ほくほくフィナンシャルグループビジネスマッチングタスクフォース」を両行24名（北陸銀行16名、北海道銀行8名）で設置し、テレビ会議システムを活用し、北陸三県・北海道と三大都市圏を繋ぐビジネス情報の提供体制を整備いたしました。

また商品開発では共同商品「ほくほくファンド2004」の開発や債権流動化業務（北陸銀行のノウハウを北海道銀行が活用）、宝くじ付き定期預金（北海道銀行のノウハウを北陸銀行が活用）などで両行の協力体制を順次構築しております。

3. 両行間店舗網の再構築



北海道銀行東京支店・東京事務所・資金証券グループは17年2月14日に北陸銀行東京支店ビル（室町中央ビル）に移転いたしました。

17年3月22日には、北陸銀行北見支店の業務を北海道銀行北見支店に、17年4月18日には北陸銀行網走支店の業務を北海道銀行網走支店に、北海道銀行大阪支店の業務を北陸銀行大阪支店にそれぞれ継承いたしました。

さらに17年度中に北海道銀行光星出張所（札幌市）の移転に伴い、同所跡地に北陸銀行苗穂支店が、同支店跡地に北海道銀行創成支店がそれぞれ順次移転します。

4. 劣後特約付社債200億円の発行

17年3月1日に第1回期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）を200億円発行いたしました。資金は北陸銀行および北海道銀行への劣後貸付金に充当いたしました。

5. 「YOSAKOIソーラン祭り」へ初出場



17年6月8日から札幌市で開催された「第14回YOSAKOIソーラン祭り」に、初出場いたしました。

今回で9回目の出場を誇る老舗チーム「北海あほんだら会」のご支援をいただき、合同チーム「北海あほんだら会&ほくほくFG」を結成、出場334チームの中でも最大級の規模を誇る総勢150名が勇壮な演舞を披露いたしました。全国各地から集まった参加者、観客の皆さまとともに祭りを楽しみ、達成感、一体感を共有することができました。

北陸銀行

1. ATMの1日当たりの
利用限度額設定

昨今、全国的に増加しているキャッシュカードの盗難・偽造等による犯罪への対応策として、17年3月14日よりATM利用時（お引き出し、お振り込み）の1日当たりのご利用限度額をお客さまの申し出に応じて口座ごとに1万円から1,000万円までの範囲内で個別設定できるお取り扱いを開始いたしました。（お申し出のない場合、1日当たりの利用限度額を100万円とさせていただきます。）

2. 中国ビジネス



北陸銀行では中国進出ニーズのあるお取引先471社で「ほくりく長城会」を組織し、情報提供・情報交換の場を提供し、会員の皆さまから大変ご好評をいただいております。

16年10月には、大連市人民政府（中華人民共和国）との間で経済交流協定を締結し、今後の地元企業と大連市の経済面での交流をより積極的に支援してまいります。

また、同年10月に中国（香港を含む）勤務経験者等約100名を中心に、将来的にも急成長が見込まれる中国市場への多様なニーズに迅速・的確に対応するため、中国ビジネス相談ニーズの高い32店舗に中国ビジネスデスクを設置いたしております。

3. 株式投資ニーズへの対応

株式投資ニーズのあるお客さまへの利便性向上として、16年11月に松井証券株式会社との間で、同社の証券口座申込書を銀行窓口で受付する事務に関する業務提携を開始いたしました。また16年12月より、野村証券株式会社と証券仲介業の業務提携を行い、本店営業部ほか3店舗で、同社の証券口座開設業務および株式累投「積立て倶楽部」の仲介を開始いたしました。

4. ローソンとの業務提携拡大

東京支店、京都支店に続き、富山南中央支店（16年5月）、新宿支店（17年5月）、上野支店（17年6月）にてローソンとの共同店舗化を実施いたしました。

また16年7月に株式会社ローソン・エイティエム・ネットワークスと提携しローソンATMでのサービス提供を開始しました。ローソン端末『Loppi』による北陸銀行商品申込機能とあわせローソンを通じた北陸銀行のサービス提供チャンネルが拡大することになります。E-netとの提携によるコンビニATM（14年2月サービス提供開始）とあわせ「ほくぎんポイント倶楽部」700ポイント以上のお客さまには、長時間営業かつ時間外手数料無料のキャッシュポイントが合計9,012台（平成17年6月現在）と一層増加することになりました。

5. 産学金連携の強化



16年4月の国立大学の独立行政法人化に伴い、北陸銀行では、北陸・北海道地区において4大学3高専の指定金融機関となりました。これを機会に、産学金連携における仲介機能の一層の強化を図るべく、17年3月には、技術移転、人材交流・育成、東アジアにおける国際交流の促進などを主目的として、富山大学との間で包括的連携協力に関する覚書を調印いたしました。また、金沢大学との間では、知的財産本部および金沢大学ティ・エル・オー（KUTLO=キュトロ=技術移転機関）と連携し、16年5月から地域企業への新技術に関するプレゼンテーションを3回実施し、研究・開発分野シーズと地域企業の事業開発ニーズのマッチングを図っております。

6.宝くじ付き商品の発売

お客さまに夢と楽しみが広がる商品として、宝くじ付き住宅ローン『「夢」ホームジャンボキャンペーン』（17年4～6月）やジャンボ宝くじ付き定期預金（17年2～5月）を発売いたしました。

7.企業再生事業

17年3月に100%子会社である株式会社北銀コーポレートに再生・リストラニーズのある東京エリアのお取引先の債権を会社分割により分離し、企業再生の集中的促進を図ることいたしました。さらに同社とみずほ証券株式会社との間で企業再生分野における業務提携契約を締結し、ノウハウの蓄積と両者の連携による企業再生支援機能の強化を図ることいたしました。

17年4月には、地域特化型の事業再生に実績のある株式会社リサ・パートナーズおよび株式会社ルネッサンスキャピタルグループの2社と事業再生にかかる業務協力協定を締結し、事業再生のさらなる進展と地域経済の活性化のスピードアップを図ってまいります。

8.東大通支店開店



石川銀行からの一部営業の譲受後の金沢市における営業拠点整備と顧客利便性の向上を目的に、安江町支店を移転し、金沢市北東部全域をカバーする中核店舗として東大通支店を新設いたしました。同時に橋場支店、東金沢支店を「ほくぎんプラザ」の愛称を持つ出張所として個人・中小企業取引中心の営業拠点といたしました。

北海道銀行

1.個人向け商品ラインナップの充実



道銀がん保障付き住宅ローン

ローン商品では、16年10月1日より、環境に優しい住宅を取得する方へ住宅ローンを特別金利で提供する「環境配慮型住宅ローン」の取り扱いを開始しました。環境配慮型住宅ローンは、北海道ガスの天然ガス熱源システム“エコウィル”・“Fact”を対象としたのを始め、同年12月には北海道電力の“オール電化住宅”、“ソーラーシステム”を対象に追加し、以後も順次対象を拡大しております。また、17年6月1日には、カーディフ生命保険会社と提携し、「道銀がん保障付き住宅ローン」の取り扱いを開始いたしました。この住宅ローンは、従来の団体信用生命保険にがん保険特約を新たに付帯した商品です。これにより、ご返済が長期にわたる住宅ローンを更に安心してお借り入れいただけるようになりました。



年末ジャンボ宝くじ付き定期預金

預金商品では、16年10月1日から11月30日の間、「年末ジャンボ宝くじ付き定期預金」を発売いたしました。この商品は、販売期間中、5年もの自動継続式定期預金をお預け入れいただいた個人の方を対象に、預入額200万円ごとにもれなく年末ジャンボ宝くじを10枚セットで5年間プレゼントするもので、大変ご好評をいただきました。また、16年11月15日には、お客さまに安全確実な決済サービスをご提供するため、無利息普通預金の取り扱いを開始いたしました。本商品は、「いつでも払い戻しができること」「決済サービスを提供できること」「無利息であること」という決済用預金の条件を満たしており、預金保険制度により全額保護対象となります。

2. 企業向け貸出機能の充実

16年11月24日、道内農畜水産業の情報交換、協調融資の推進、相互研鑽、販路支援などを目的とし、農林漁業金融公庫と業務協力に関する覚書を締結しました。農畜水産業および関連産業における情報の共有化や融資活動を通じて、相互の連携を強化し道内産業の育成に寄与してまいります。

また、16年12月10日には、道内初の中小企業・個人事業主向け融資専門店であるビジネスローンプラザにおきまして、新規のお客さまへの融資を開始いたしました。電話・ファックスといったダイレクトチャネルを活用し、早い・簡単・便利をコンセプトにお客さまの資金需要に積極的にお応えしてまいります。

3. ビジネスマッチングの推進



北海道の「食」特別商談会

16年10月25日、当行、日経BP社、札幌 IT City推進協議会との共催により、「北海道ビジネスフォーラム2004」を開催いたしました。伊藤元重・東京大学大学院教授による基調講演の後、4テーマからなるビジネスセミナーと北海道ビジネス交流会を開催し、延べ約1,800名が来場されました。第6回となる「北海道ビジネス交流会」には、北陸銀行のお取引先7社を含む70社が出展、約800名が参加されました。会場内では、約200組の面談が実現するなど、活気に満ちた交流会となりました。

17年5月11日、道内の食品・飲料メーカーの販路拡大を支援するため、「北海道の『食』特別商談会」を開催いたしました。商談会には、首都圏からスーパーマーケット経営者・バイヤーを招き、道内メーカー33社と意見交換会や試食を含めた商談会を実施しました。今後もお客さまのニーズにお応えし、より実効性の高いビジネスマッチングの場を提供してまいりたいと考えております。

4. 債権流動化・不動産流動化への取り組み

17年2月3日より「顧客債権流動化プログラム」の取り扱いを開始いたしました。本プログラムは、お取引先への新たな資金調達手段の提供と財務の効率化を目的としたもので、自行独自のスキームによる債権流動化業務の取り扱いは、道内の金融機関としては初めてとなります。17年3月8日には、北海道開発局向け「完成工事未収入金債権」を対象債権に追加いたしました。

また、17年3月29日より、お取引先の資産オフバランスニーズおよび資金需要にお応えするため、住友信託銀行と共同で道内金融機関初の不動産流動化ファンドを組成することといたしました。

債権・不動産の流動化は銀行借入などによる間接金融や増資などによる直接金融に次ぐ新たな資金調達手段として期待されており、企業の財務効率化のニーズを受けて、ますます拡大することが予想されます。

5. 店舗の新築移転



網走支店新店舗

16年10月25日、網走支店が移転開店いたしました。旧店舗は築後42年経過しており、老朽化がすすんでおりました。新店舗は、旧店舗から約150メートル西側の、従来と同様網走中央商店街の中に位置し、駐車場のスペースも広く、ご利用しやすくなっております。また、ATMにつきましても1台増設するとともに、平日の営業時間延長および日曜・祝日営業を開始するなど、よりお客さまのニーズにお応えできる店舗となっております。

17年3月14日には、豊岡支店を旭友ストア ア・モール店の駐車場隣接地に移転開店いたしました。新店舗は、駐車場のスペースが広く、ATMの営業時間を延長し、これまで以上にご利用しやすくなっております。また、旭川支店より住宅ローンプラザが移転し、同店舗に併設となりました。